

今週の見頃写真

8月12日編集

○風景

有峰も8月の第2週になって有峰でも25℃を超える夏日の日が多くなりました

8月10日、8月11日には30℃を超える真夏日となりました。11日午後4時、積乱雲が発達し始めていました。



小口川線と西岸線の分岐点不動谷橋より有峰湖と薬師岳を望む（不動谷橋より8/11撮影）



小口川線展望台より有峰ダムと薬師岳を望む
（小口川線展望台より8/11撮影）

○動物編

○ツキノワグマ

8月8日猪根平有峰森林文化村公園区域内に比較的若いツキノワグマの成獣（性別不明）が出没しました。小熊に比べ体格が良く、風格があります。やはりアリを探索・物色・捕食していました。7月中は小熊の出没が多い状況下にありましたが、久しぶりの成獣出没となりました。



こちらを正視するツキノワグマ成獣
猪根平樹木園にて8/8撮影



樹木園から出てきたツキノワグマ成獣
猪根平樹木園にて8/8撮影



樹木園前でアリを物色しているツキノワグマ成獣
猪根平樹木園前にて8/8撮影

○鳥類編

○コゲラ（キツツキ科）

コゲラ、ギィーという声をだしながら行動する黒と白の模様をした小さなキツツキ類です。枝の下の方から上の方へ移動し、幹から枝先へと順序良く移動しながら餌を探し回る

様子が観察できました。撮影できたのはラッキーでした。



カラマツの幹上で餌探しをするコゲラ
猪根平せせらぎ広場にて 8/9 撮影

○昆虫班

○セスジツユムシ（ツユムシ科）

ミズキの葉上で、📍を探して移動しながら、一匹が鳴き始めると、それに連呼し、静止してチッチ・チチチ・・・と、羽を摺合せながら鳴き始めるセスジツユムシ📍を撮影しました。晴天で炎天下のほうが、曇天の時と比較し、鳴き声がより共鳴していました。



ミズキの葉上で鳴いているセスジツユムシ📍



ススキの葉上で鳴こうとしているセスジツユムシ📍

○植物編

○ソバナ（キキョウ科）

有峰では、西岸線や小口川線の道路沿いの斜面でこの時期（8月）、花期を迎えるため観察できます。まばらな円錐花序の青紫色の鐘形の花は魅力的です。茎の上部は斜面に生えていることが多いため、そこから花が垂れ下がる姿はなかなか風情があります。



垂れ下がるソバナの円錐花序

（有峰西岸線にて 8月9日撮影）



道端の斜面に生えるソバナ

（有峰西岸線にて 8月9日撮影）

○ジャコウソウ（シソ科）

有峰でも班日陰のところに生え、この時期（8月）、花期を迎えるため観察できます。麝香草の意味で、茎や葉に香りがあるため名付けられました。



班日陰の道端の斜面に生えるジャコウソウ
(有峰西岸線にて8月9日撮影)

○ハナビラタケ (ハナビラタケ科)

子実体は有柄、柄は繰り返しの分枝となり、各枝は平たく、波形にうねりくねった花弁状、全体はクリーム色のハボタン状です。

有峰ではこの時期見頃の菌類(きのこ)です。味は美味で、有峰では、マイタケと同様にきのこの王様に位置付けられているようです。



大きなハマビラタケを手に記念撮影
(ビジターセンター前にて8/8 記念撮影)